

## 虚無主義的歴史観に対抗する能力を高めよ

中青在線 発表時期：20180131 19:42 ソース：貴州日報

阿部信行

(訳者コメント)

中国青年報のネット版「中青在線」(20180131)に「虚無主義的歴史観に対抗する能力を高めよう」と題する論文が掲載されました。  
原文は「歴史虚無主義」となっていますが、翻訳は、虚無主義的歴史観、としました。  
内容は、中国共産党の歴史を見直そうとする一派があり、その一派に対抗するためには理論武装しようと呼びかけています。  
見直し派は、おそらく中国共産党の歪曲した歴史を見直し、毛沢東や文革を従来とは別の角度から批判しようとしているに違いありません。また米国など外国でも日中戦争時の中国共産党軍の動きを明らかにしようとする人々があり、習近平は党の将来に危機感を抱きだしたものと思われます。  
最近では歴史教科書から文革の記述がなくなったとか。中国では従来歴史観を維持しようとする動きが今後強まるものと思われます。

王芳  
新見

歴史とは、一つの民族、一つの国家、一つの政党の発展及びその盛衰興亡の真の記録であり、また安身立命の基礎である。

しかしながら、近年来、虚無主義的歴史観が密かに湧き上がり、歴史を意のままに歪曲し、指導者を否定し、英雄の顔に泥を塗り、歴史を否定的に見ようとする傾向を生み出している。

我々は、新時代において、中国の特色ある社会主義を堅持し発展させ、虚無主義的歴史観に反対する旗印を鮮明にしなければならない。

虚無主義的歴史観は、指導者と英雄を曖昧にする手段である。

虚無主義的歴史観は、学術領域の問題であり、また思想領域の問題でもある。しかし結局は政治の問題である。これに対して、習近平総書記は、かつて鋭く指摘した：虚無主義的歴史観の弱点は、マルクス主義の指導的地位と中国が社会主義の道を歩む歴史的必然性を根本から否定し、中国共産党の指導的地位を否定するところにある、と。この種の政治目的の下、我々の党の指導者及び英雄人物は、容易に否定されたり、滑稽化されたり、軽蔑の対象にされることはない。近年来、虚無主義的歴史観が革命の指導者、英雄を攻撃し誹る手法は多様化しており、概括すると、次の3種類に分けられる。

一つは、ある一点だけを攻撃し、その他には触れない。歴史上の人物に対する評価は、全面的、歴史的、弁証法的に見て分析しなければならない。歴史上の人物に失敗と錯誤があったからといって、全面的に否定し、彼らの歴史的功績を抹殺してはならない。しかしながら、虚無主義的歴史観は、歴史の細部を掘り起こす為の名目で、歴史上の人物を孤立した、一面的な、曲解する手法で評価し、その人物の失敗し錯誤した部分を無限に拡大している。そして歴史上の人物の歴史的な貢献を意図的に無視している。實際上、この種の歴史の支流と局部に拘る研究は、歴史上の事実とははるかにかけ離れており、歴史の主流から外れている。

二つ目は、史料のでっち上げ、と主観的なあて推量での断定である。歴史は、考証も討論もできないわけではない。しかし歴史史料を任意選択することはできないし、随意に改ざんすることもできない。歴史上の人物を正確に評価することは、事実に基づいて、是非を弁明しなければならない。しかし、虚無主義的歴史観が慣用する技術は、想像とあて推量であり、仮定の基づき生まれる可能性のある結果を推論し、自己の判断の正確性を証明しようとする。これは、實際上、中傷、攻撃の意図をもって我々の指導者、英雄の名声を衰えさせ、思想を混乱させ、社会の共通認識を乱すことになる。

三つ目は、良い人を悪人にし、悪人を良い人にする。歴史上の人物に対する評価は、彼の生きた時代と社会的歴史的条件下で分析しなければならない。歴史的な条件、歴史に対する全面認識及び歴史の規律に対する科学的な解釈から離れることはできない。これは、歴史唯物主義に符合する考え方である。しかし、虚無主義的歴史観は、歴史的な人物の階級分野を無視し、しかもいわゆる”人間性複雑論”を用いて評価している。すなわち「良い人は悪いことをあまり言わない。悪人は、良いことをあまり言わない」。この種の評価基準の下、封建君主専制主義の政治代表である慈禧等を”中国現代化の開拓者”として飾り立てた。しかし、民族の独立と国家の富強を図った先進代表である林則徐、孫中山等は、”中国を未来永劫にわたって危険に陥れた”と評価した。このことは虚無主義的歴史観が実際には歴史唯心主義の一表現であることを証明している。その本質は、歴史の歪曲或いは曲解である。

#### 虚無主義的歴史観が指導者及び英雄を無視する理由

虚無主義的歴史観を持つ人々は、なぜ我々の指導者と英雄をとりあげるのか？少数の人々は、政治的意図を持ち、歴史的な人物を歪曲評価することによって中国共産党の指導を否定する。大多数の人々の主観要素には主として次の三つがある。

一つは、時代認識の錯誤である。人々は、歴史上の人物を評価する際、必ず一つの観察点、或いは立脚点をもつはずだ。それは結局人々の立脚する時代に対する認識と密接な関係がある。党の十九大で示された、中国の特色ある社会主

義が新たな時代に入ったとするこの重大な政治論断を我々は必ず認識しなければならない。この新時代は、中国の特色ある社会主義の新時代であり、他の如何なる新時代でもない。中国の特色ある社会主義は、社会主義であって、他の如何なる主義でもない。これが現下の中国社会の時代そのものである。しかしながら、一部の人は、現下の中国を誤認識し、或いは中国が現在営んでいるのを社会主義ではないと認識し、その結果彼らは歴史を歪曲し、指導者と英雄を中傷し攻撃する。そして虚無主義的歴史観の迷路に入り込み、出られなくなる。

二つ目は、思想方法の偏りである。一部の人は、歴史上の人物を評価するために、その人を特定の歴史条件下に置き、総合的にかつ長い年月を経て考察するのではなく、一部をもって全部とみなし、今の尺度で昔を評価する。これでは虚無主義的歴史観の泥沼に入り込んでしまう。失敗と錯誤だけを見れば、歴史上の功績は見えない。そして客観的な歴史の真相が見えなくなるだけでなく、虚無主義的歴史観に陥ってしまう。

三つ目は、個人の感情の非理性である。真の歴史研究は、客観的立場を維持しなければならない。歴史の真実を如実に反映する史料を使用し、客観的かつ公正に歴史事件と人物を評価し、できる限り主観と客観を一致させねばならない。しかしながら現実には、一部の人は、歴史上の人物の評価に際し、しばしば強烈な主観と色彩を帯びさせ、主観的に烙印を押す。

虚無主義的歴史観に反対する旗印を鮮明にしよう。

我々がはっきり認識すべきことは、虚無主義的歴史観に反対する運動が直面する複雑性、長期性、困難性である。そのためには、虚無主義的歴史観に対抗するための能力と水準を高めなければならない。

一つは、思想認識と政治能力を高めることである。歴史と現実を分割することができない。歴史問題に対して、どのような態度を持つべきか。これは、過去の問題を安易に捉えるのではなく、今日の問題として見るべきなのである。虚無主義的歴史観を持つ者は、ある国家を破壊しようとする場合、まず最初にその国家の執政党を攻撃する；その国家の執政党を破壊しようと思ったら、まず最初に、その党の主要な指導者と英雄人物を滑稽化する。

これに対して、我々の思想は終始冷静でなければならない。警戒を怠ってはならない。また軽々しい態度をとってはならない。党の歴史発展の主題と路線、主流と本質を確実に把握しなければならない。また歴史と人民が選択した中国共産党、マルクス主義、社会主義路線、改革開放の歴史的必然性をしっかり認識しなければならない。そして中国の特色ある社会主義、党、国家、及び民族の団結を堅持しなければならない。

二つ目は、マルクス主義を理論武器にすること。習近平同志は次のように指摘した：我が国において、マルクス主義の指導思想を堅持しなければ、社会科学

として哲学は魂を失い、方向を見失う。虚無主義的歴史観に反対するには、マルクス主義を武器にしなければならない。マルクス主義の弁証唯物主義及び歴史唯物主義を堅持するには、弁証法的、歴史的、実践的観点から正確に歴史に向き合わねばならない。そして客観的な歴史的事実から出発し、实事求是の姿勢で歴史を見なければならない。

三つ目は、歴史研究を強化し深化させること。党史、国史、軍史は、虚無主義的歴史観に満ちている。我々の歴史研究と問題意識の欠乏は、戦力発揮に密接に関係する。全体的に見て、学会の虚無主義的歴史観に対する批判は、少なからず虚無主義的歴史観の本質と危険性を要約している。しかし、それに対する具体的な観点において、ピントがずれ、説得力のあるまともな答えが出ていない。虚無主義的歴史観を根本的に批判しようとするならば、関連する問題の実証研究を深化させねばならない。説得力を強化し、広大な読者の願いを聞けば、信服させることができる。根本的に解決するには、理を以て人を服さしめるほかない。

四つ目は、歴史宣伝方式を刷新することである。党の歴史の歪曲化と滑稽化に対しては、(過去の) 錯誤に対する見方とその理由を直ちに大胆に声を上げて明確にし、次から次へ誤って伝えられることを防止しなければならない。虚無主義的歴史観への批判については、実際から出発し、政治問題と学術問題を区分し、思想認識問題の限界に厳に注意しなければならない。新たな媒体技術の発展に伴い、インターネット技術と情報化手段をうまく利用し、虚無主義的歴史観の生存空間を逐次縮小し、その影響力を逐次粛清しなければならない。中国の故事、中国共産党の故事、中国人民の故事を題材にした教育を推進し、歴史の豊かさ、複雑さ、曲折性を学習させる。そうすることによって初めて、真の伝道者になることができる。

(作者は省委員会党校マルクス主義と党の建設研究院副教授)